

その他 保護者からの声（自由記述）

- ・担任の先生方に恵まれ、貴重な体験をする機会が多くとても感謝しています。
 - ・児童への配慮に感謝しています。
 - ・学校公開では、全ての児童の声に平等に耳を傾け、小さな疑問にも一つ一つ丁寧に答えてくださり、いつも明るく楽しい時間を作ろうとしているのが伝わってきます。（中略）全校行事では、先生と児童が一体となって時間をかけ準備してきた様子が伝わり、今後の行事に期待するほどでした。また、保護者としてできる限り協力していこうと思えました。
 - ・人間関係に行き詰まったとき、自分で答えを見付けようと努力しても上手くいかず、先生にアドバイスをもらい友達とよい関係を保つことができました。親以外にも先生に相談できる関係性ができていることに安心しました。（中略）言葉遣いに関しては、家庭でのしつけの部分だと思うので、気をつけていきたいと思えます。
 - ・算数少人数制の授業は少人数ではない気がしますし、（中略）学習内容も難しい内容になってきて、自宅学習をしても理解していない部分も多く見られます。もちろん家庭でもフォローはしていますが、人数の多さから個人を見てもらえてない気がします。
 - 算数の少人数制につきましては、東京都教育委員会、練馬区教育委員会の規定により配置される数が決まっています。ですので、高松小のように児童数が多い場合、ご意見のように感じると思います。また、今年度は学期途中での担当者数の増減があり、ご心配とご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。なお、校長、副校長が授業を見て指導内容の確認をしていますが、指導内容につきまして気になる点等ありましたら、遠慮なくご連絡をください。新学習指導要領の完全実施に向けて、児童一人一人の力が高まるような授業改善を図って参ります。
 - ・休み時間中、ボールが激しく飛び交っていて、我が子も何度も当たられています。何とか対策をしていただけませんか。
 - 休み時間の校庭での遊び場所は決まっていますので、学級指導等で徹底をしていきます。また、今年度は、竹馬を使用できるようにしました。理由は、ボールを使った遊びでない遊びをして欲しいこと、子供たちに、巧緻性を高めて欲しいと考えたからです。今後も、一輪車や縄跳び等、ボールを使わない遊びを推奨していきます。
 - ・遠足や運動会等で必要な持ち物を早めに知らせてもらえると助かります。保護者会は、時間をずらして同じ日にしたいです。
 - 仕事をしている保護者の方が多いため、持ち物等につきましては、早めに知らせよう努力します。保護者会の日時設定につきましては、今後、検討して参ります。
 - ・下校時、道路に広がって歩いていたり、ふざけていたりする児童がいます。子供たちに、もっとしっかりと危ないということ伝えていただけたらと思います。
 - 今後も学校では、安全指導日の指導や学級活動内での指導を徹底していきますが、学校だけでは身に付きません。ご家庭におきましても、登校班での見守りの際に指導していただく、地区子ども会等の機会に課題を話していただく等、ご家庭と学校と協力して指導をしていくことで、子供たちの力を高めていきましょう。
 - ・体育の授業時、肌着を脱いで行うのは、あまり賛成しません。汗をかいたら着替えを持たせませすし、特に、女の子の気持ちを考えるとどうかと思えます。
 - 着替えを持たせていただき、ご家庭でお子さん本人にも着替えるよう伝えていただければ、肌着を着て体育着を着ても構いません。各ご家庭で、お子さんと相談していただき、対応していただけると助かります。
 - ・水泳の授業が少なすぎると思います。夏休みにもっとたくさん水泳ができるようにしたいと思えます。
 - 体育の学習の中で、水泳の授業は10時間程度と学習指導要領に示されており、それに準じて実施しています。ご理解をいただくとありがたいです。なお、夏休みの水泳については、近年の猛暑により開始時刻や回数については検討しているところです。今年度は、中止の条件として気温の上限が出されましたので、次年度、実際に何回実施できるかは未定です。ご家庭でも工夫をしていただけたらと思います。
 - ・このようなアンケートを行う場合は、封書などに入れて提出にして、誰もが目にできない状態にしたい。フルオープンな状態では、本音は書けないと思えます。
 - アンケートの回収方法につきましては、今後検討して参ります。
 - ・学校のうさぎの飼育環境が余りにひどく、早急に暮らしやすい環境を整えるべきだと思います。飼育委員会の児童だけで世話をするのは限界があります。動物の世話には、大人の手が必要です。動物を飼育した経験をもった先生方がほとんどいらっしゃらず、中々気を配っていただけないと聞いていますが、想像力を働かせていただき、経営方針「豊かな心の育成一体験活動の充実」に向かっただきたいです。
 - 特に、今年度の飼育委員会の子供たちは、ウサギのことを考え、こうしたいという強い思いをもって委員会活動に取り組んでいる姿を見ます。また、休日にもお世話をしており大変ありがたいです。飼育委員会の子供たちだけでなく、他の児童にとっても、豊かな心を育成するためには、よい機会だと捉えています。今後は、ウサギにとって良い環境について担当教員を含め改めて考えて参ります。
- そのほか、兄弟班活動、PTA活動、担任の指導への学校としての対応についてご意見をいただきました。紙面の都合上、掲載できませんでしたが、貴重なご意見として受け止め、改善を図って参ります。

学校関係者評価

学校評議員会 2月26日（火）10:30～ 実施

授業参観、自己評価の結果を受けて、学校評議員の皆様から次のようなご意見、ご感想をいただきました。

- ・子供たちは、落ち着いて授業を受けている。
- ・良い雰囲気の中で授業を受けている。
- ・子供たちが、理解しやすい指導をしている。
- ・先生方の黒板の字がきれい。
- ・子供たちは、おおらかで伸び伸びしている。
- ・学校外でもあいさつがとても上手にできている。
- ・授業の中で子供たちの話し合い活動等がもう少し多くても良いと思った。
- ・スマートフォンの使い方については、家庭でも取り組んでいかななくてはならない。
- ・読書について、古い本だと手に取りにくいのではないかと。本の管理については、子供たちが、本が大事にされていると思うようにしていくと、読む気持ちにもつながると思う。
- ・幼小連携については、少しずつでも進めていく。



みんなで育てる高松の子、みんなが育つ高松小学校

たかまつ

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

平成31年2月28日
練馬区立高松小学校 学校評価臨時号
校長 渡邊 万里子
TEL3999-3376

<http://www.takamatsu-e.nerima-ky.ed.jp/>

平成30年度 高松小学校 学校評価の結果について

副校長 佐藤 かほ里

日差しにもようやく春の訪れを感じるころとなりました。保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました本校の教育に関するアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。別紙をご覧ください。今回の保護者の皆様からの回収率は、85.4%となりました。アンケートの結果やご意見を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かして参りたいと考えています。

さて、昨年9月の研修で「子供の生活時間・学校と家庭（小学生）」（講師 学校安全教育研究事務局長 矢崎良明先生）という話を拝聴しました。

Q：子供が一年間で起きている時間のうち、学校にいる時間はどのくらいの割合でしょうか。

①30%

②50%

③70%

○午前7時に起床し、午後10時に就寝したと仮定したときの一日の生活時間→15時間

一年間、昼間起きている時間 15時間×365日＝5,475時間

○午前8時30分に登校し、午後3時30分に下校すると仮定したときの在校時間→7時間

一年間、学校で生活している時間 7時間×208日＝1,456時間

「20年後には、今の仕事の約47%の仕事がなくなる。」（オックスフォード大学：マイケル・A・オズボーン准教授）、「国内の601の職種について、人工知能やロボット等で代替される確率を試算したところ、日本の労働人口の約49%の職業において、それらに代替することが可能である。」（労働政策研究所・研修機構『職務構造に関する研究』より）と言われていています。つまり、およそ半数の人の仕事は、技術的にAI（人工知能）やロボットに代替可能であることを示しています。科学技術が進展していけば、それに対応する新しい職業も生まれると考えられますが、これから生きていく子供たちには、「生産年齢人口の減少」「グローバル化の進展」「AI（人工知能）の発達」「科学技術の進展」「急激な変化への対応」という課題があることは明らかでしょう。

平成32年度から新学習指導要領が完全実施となります。新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱が示されています。これは、社会の激しい変化の中で、何が重要であるかを主体的に判断できること、多様な人々と協働することができること、新たな問題の発見・解決につなげることができることという、今後の社会において求められる力から示されました。

では、正解です。上記の時間を基に計算をしていくと、正解は①です。子供が一年間で起きている時間のうち、学校にいる時間は30%です。言い換えれば、子供が一年間で起きている時間のうち約70%は、家庭や地域で過ごしているということになります。

新しい時代に必要となる資質・能力として、児童一人一人が「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の力を身に付けていくためには、学校だけではなく、ご家庭や地域の力が必要となります。ぜひ、学校評価をご一読いただき、学校と家庭と地域のさらなる連携のもと、次代を生き抜く力を身に付けた児童の育成を図っていきましょう。

なお、中面に、運動会、展覧会のアンケート結果について掲載しています。合わせてご一読ください。

運動会アンケートまとめ

○良かった点 △お気づきの点 ◎▲特に多かった意見

<譲り合い席について>

◎譲り合いながらビデオ撮影ができた。

▲最前列の保護者が座ってくれず、見えない場所があった。三脚使用も控えて欲しい。

⇒最前列の方は三脚使用を控え、お座りいただけますよう、皆様のご協力お願いいたします。

<日程について>

○雨が降る中、判断が難しかったと思うが、二日間に分けたこと、(初日にも開催をしたこと)で、すべての演技を見ることができた。

○平日だと見に来られない保護者がいたと思う。表現と徒競走を土曜日に実施したのはありがたかった。

<内容について>

○楽しみに家で練習をしたり、「楽しみにしていて」と当日まで秘密にしたりする中、当日は子供の楽しむ姿や成長した姿に感動した。

○立ち位置のお知らせはありがたい。

△一輪車はやはり感動する。去年無くした分、無いなら無いで徹底してほしかった。

⇒今年度は、6年間の体育学習の集大成として取り扱いました。次年度以降も、学習指導要領に準じた4年生の表現運動に取り組んで参ります。

△徒競走が続いたことで応援団がかわいそうだった。雨天時における閉会式の応援団は素足じゃ無くても良かった。

⇒今年度は天候によるプログラム変更により、応援団による応援が続いてしまいました。天候にかかわらず素足がよいかどうかを応援団担当教員と相談をし、配慮をしていきます。

<連絡について>

▲朝は連絡網では無く、メールかHPを希望します。

⇒次年度以降、連絡は学校連絡メールとHPに統一します。

▲雨具を持参するよう声かけをして欲しかった。

⇒今年度の天候では、声かけの配慮が必要でした。申し訳ありませんでした。今後、雨合羽の持参については、学校からの声かけとともに、各ご家庭でも判断をお願いいたします。なお、傘は危険なため、雨合羽でお願いいたします。

<その他>

○役員、保護者の方々がパトロールを終始行うなど、安全面に対する配慮がなされていて良かった。

▲保護者の方の傘は危険。

△路上に自転車を停めている方がいる。児童席に入って写真を撮る保護者がいる。モラルは守っていただきたい。

△ハンカチをおいて優先席を確保する方もいた。

⇒学校としては、保護者の皆様お一人お一人が声をかけ合い、マナーを守って気持ちよく見ていただくことを期待し、必要最低限の注意事項等をお示ししています。保護者の皆様のモラルとマナーの遵守に期待しているということです。一人の大人として子供たちの手本となるよう、ご協力お願いいたします。

1. アンケート結果

◆アンケート提出 1年70名 2年46名 3年60名 4年26名 5年24名 6年20名

◆その他地域の方 3名 (兄弟がいる場合は下の学年に含まれています。)

計 249名

- 1 お子さんは、家で図工の学習や作品の制作の様子をよく話した。
 そう思う36% ややそう思う43% あまりそう思わない13% まったくそう思わない3% 無回答5%
- 2 会場のレイアウトは保護者にとって子供の様子を見やすいレイアウトだったか。
 そう思う69% ややそう思う26% あまりそう思わない2% まったくそう思わない0.4% 無回答2.6%
- 3 参観者のマナーは良かった。
 そう思う61% ややそう思う10% あまりそう思わない2% まったくそう思わない0% 無回答7%

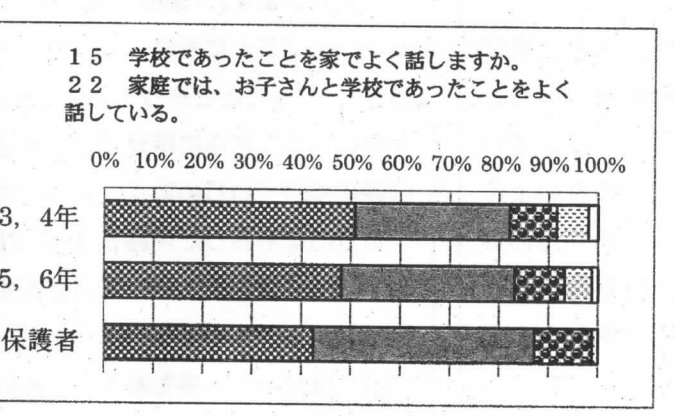
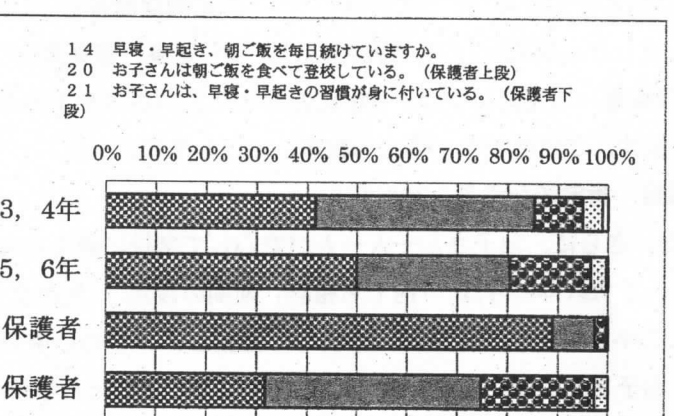
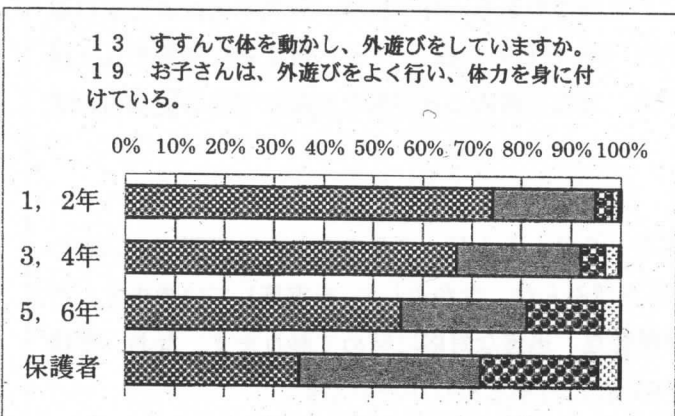
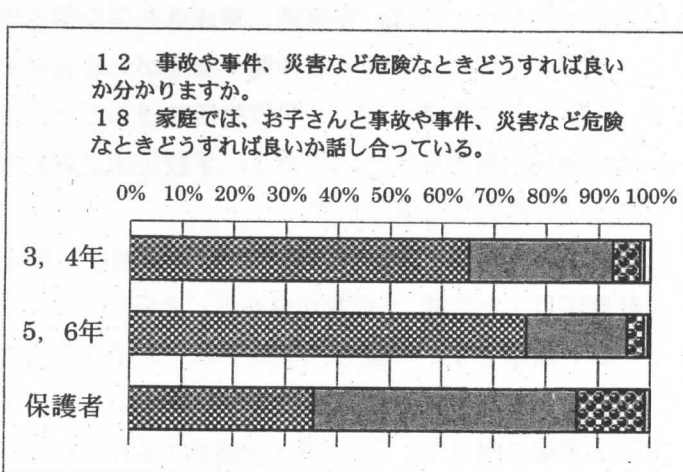
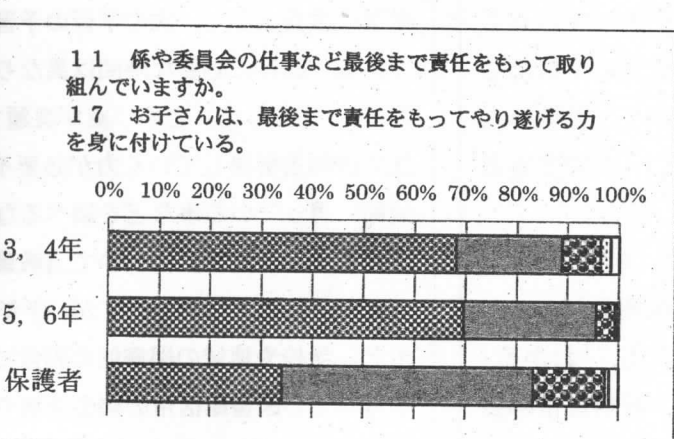
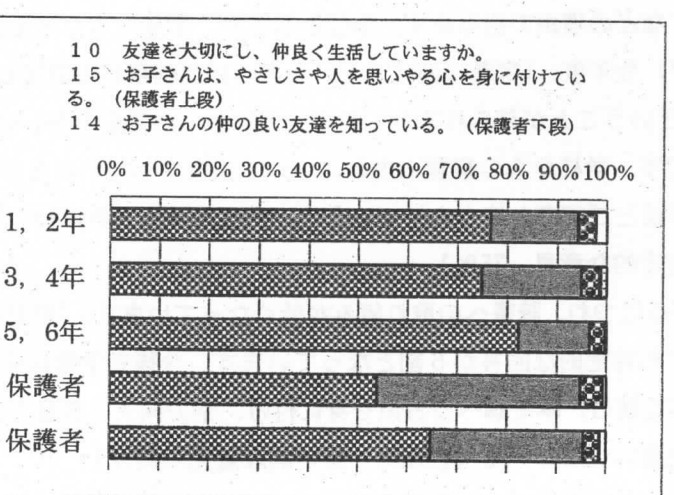
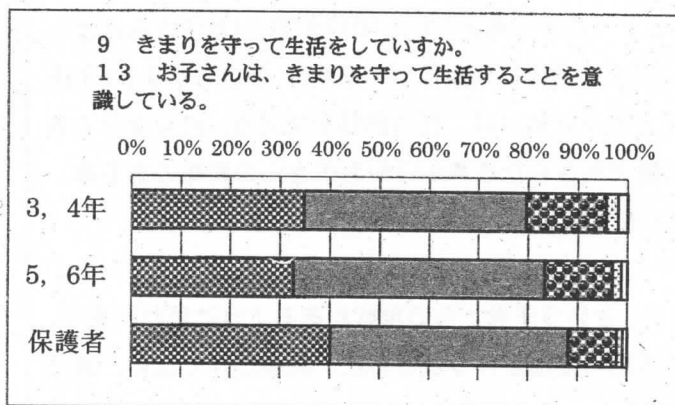
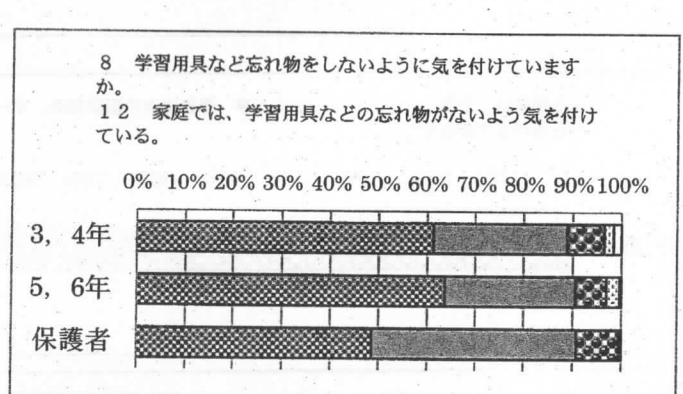
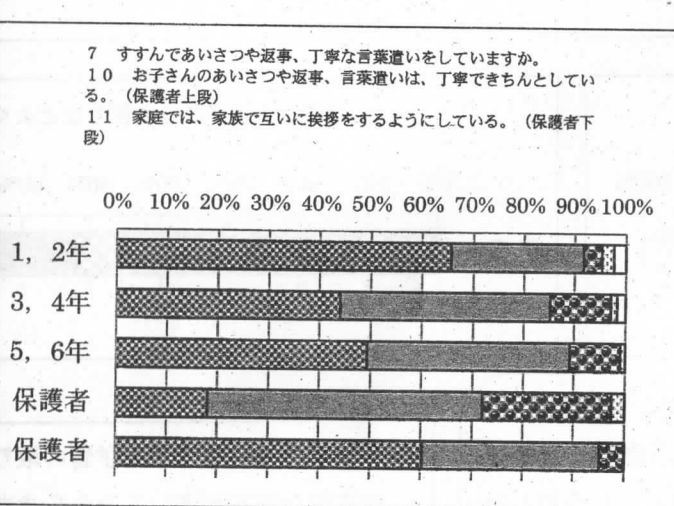
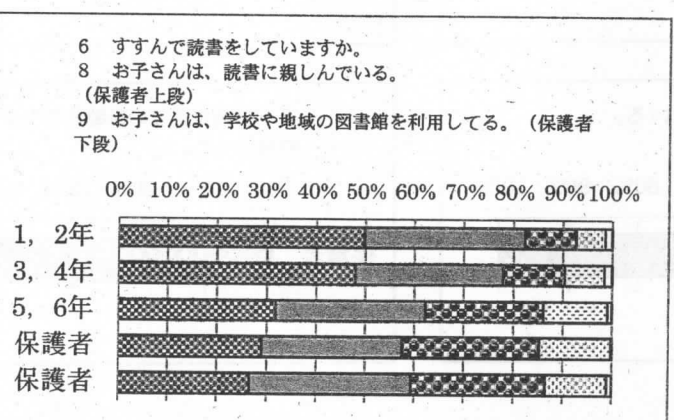
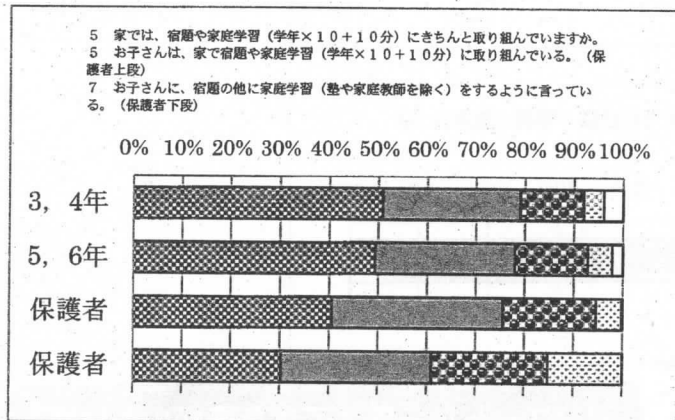
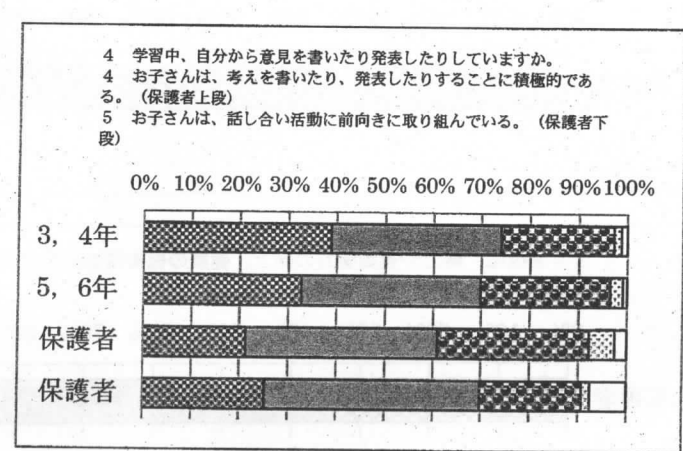
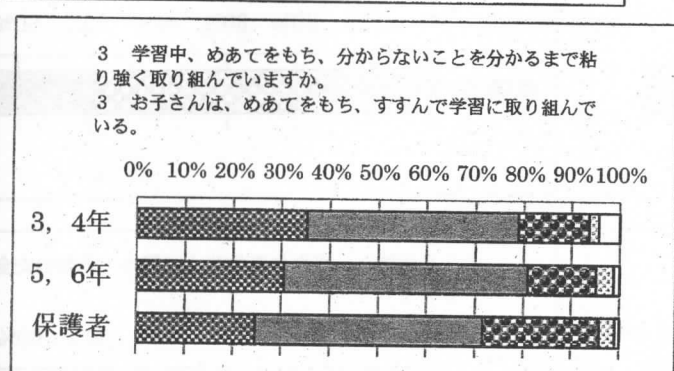
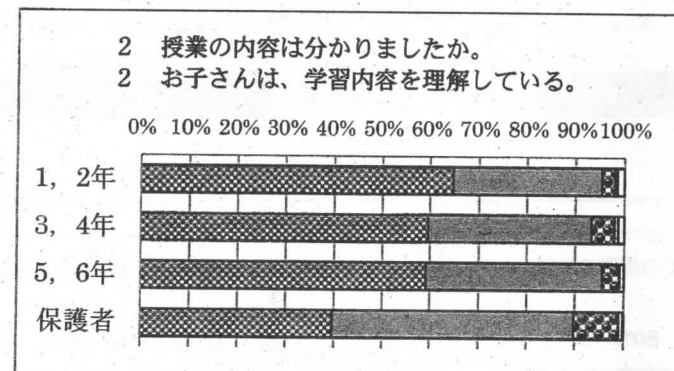
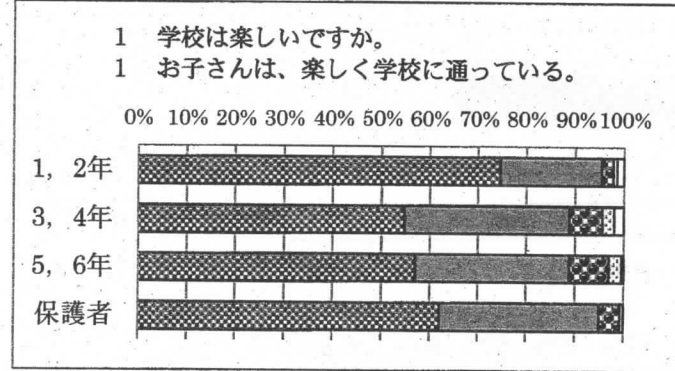
2. 自由記述より (●お気づきの点 ○良かった点)

- クラス別に展示していなかったのが探しづらかったが、他の子の作品を見られたのでこのような展示も良い。
- 飾りも多く、華やかで50周年展覧会らしく良かった。
- 学年ごとに難易度の増す作品で、技術が上がっていく様子が分かった。
- BGMが素敵で良かった。 ○ディスプレイや配置が見やすくて良かった。
- 見事なクロスステッチで驚いた。 ○夢色ランプの展示が幻想的で良かった。
- 子供がこんな作品を作れるようになったのだと成長を感じた。
- どの作品も丁寧に時間を掛けて作られているなど感心しました。
- 玄関前から作品があり、わくわく楽しい気持ちになりました。上からつるしたり、暗い空間があつたりと展示の工夫によって見応えがあった。 ○大人にはできない、子供の発想に感心しました。
- 学校公開の時に一緒に作った作品もあり、うれしかった。 ○土日にゆっくり見られたのが良かったです。
- 入り口に高ワン、松ピオンがいて下の子が喜んでいました。かわいかったです。
- 普段家では見られない子供の個性が表れた作品を見られました。 ..
- いつも学校の様子を話さない子が褒めてもらったことや作っている様子を話し、展覧会に来てほしいと言われた。
- クラス別の展示ではなかったのが見にくかった。
 →クラス別であれば、お子さんの作品を見つけやすいですが、学年ごとの展示には二つ理由があります。
 - ① 他のお子さんの作品も見たい。
 - ② 児童一人一人の作品とともに題材を全体として見ていただきたく全体のバランスを考えて並べている。個々の作品についてはお子さんと鑑賞した際に確認をしていただくと助かります。
- 小さいお子さんが走っているのが気になった。
 →プログラムやお便りに注意事項として掲載します。保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。
- 飾り作りの様子が5年生中心で残念だった。
 →指導をしながらの写真撮影であったため、学年間で差が出てしまいました。2年後はどの学年も制作の様子が分かるように伝え方を工夫していきます。
- 飾りを作った子の名前や場所が分からないので見られなかった。
 →共同作品の目的は対話的な学習として協調性を育む為、また、学校全体の行事を盛り上げていく為に学年ごとに取り組まれました。ですので、共同作品は全体としての良さを味わっていただけるとありがたいです。共同作品の場所については展示場所が分かるようにご案内します。個々の作品については名前をつけられる作品とそうでない作品があります。お子さんと鑑賞した際にご確認ください。
- 授業を行った先生の感想も聞いてみたい。
 →展覧会の年は子供たちも、展覧会で見ていただくことを念頭に置いて作品作りをするので4月から気合いを入れて取り組んでいました。作品作りがうまくいなくて途中でくじけそうになっても「展覧会だから」ともう一度奮起できる源となっていました。それぐらいどの子も一生懸命作る姿が素晴らしかったです。友達同士でも「ここはこうするといよ。」と伝え合い、ともに伸びていく姿も微笑ましかったです。
 なお、当日会場や受付にいる教員に遠慮なくお声かけいただければ、ご質問にお答えいたします。

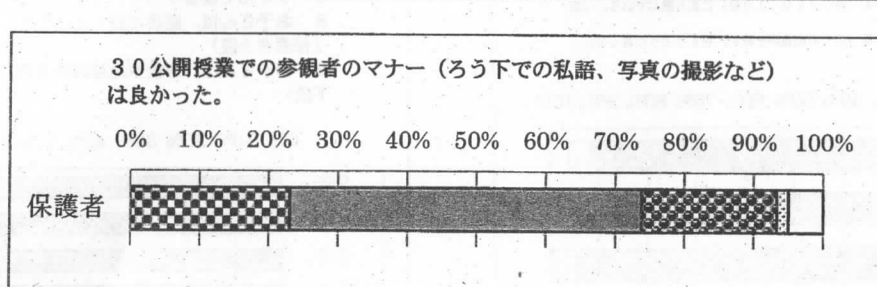
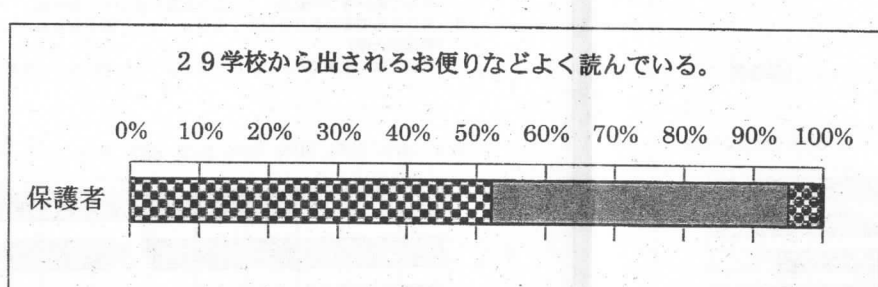
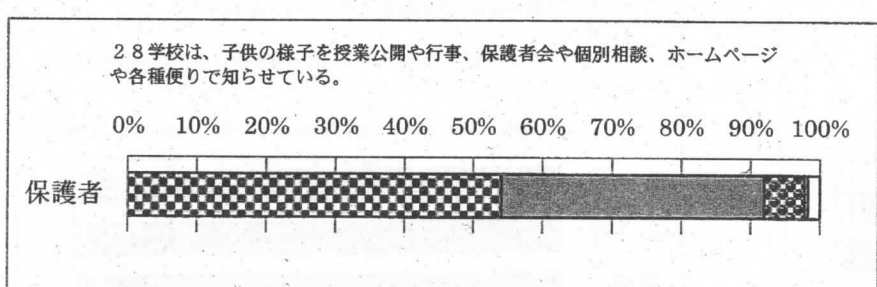
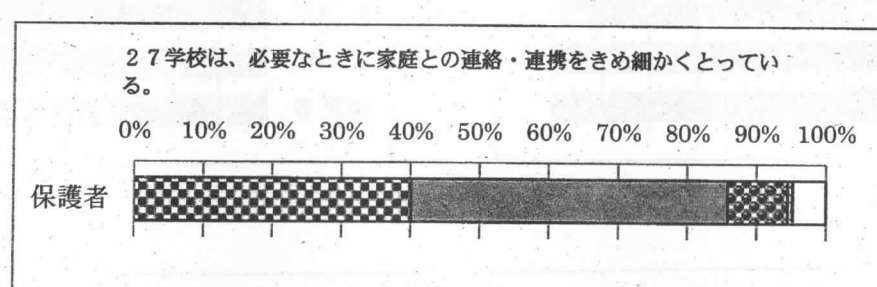
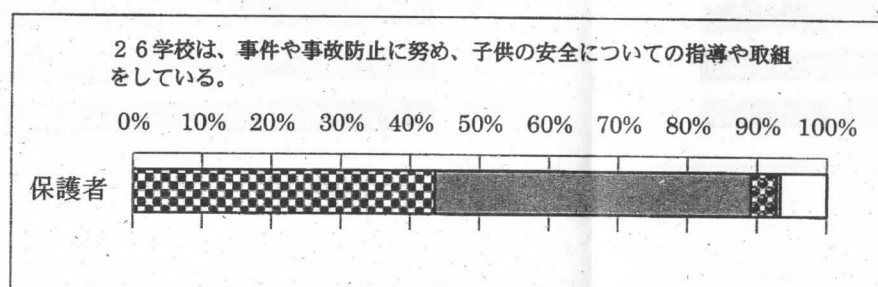
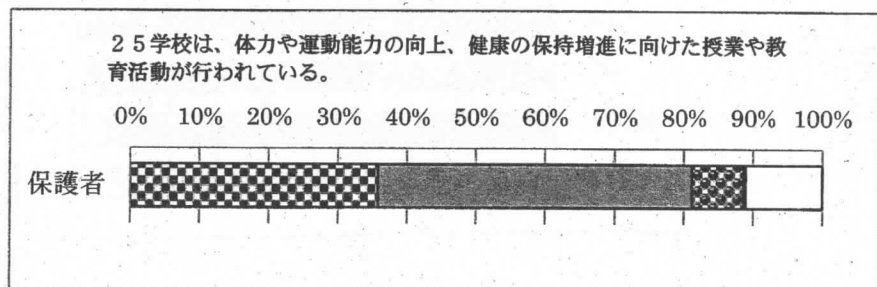
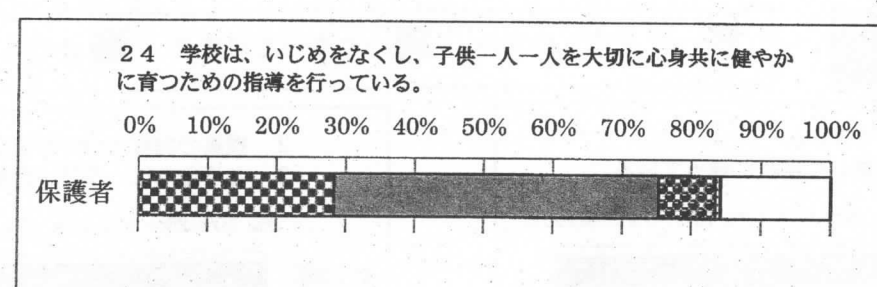
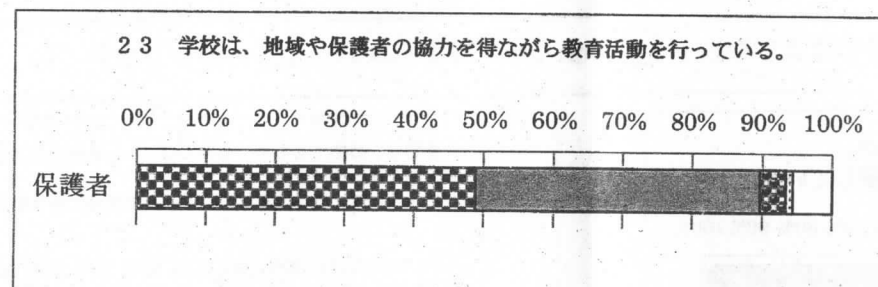
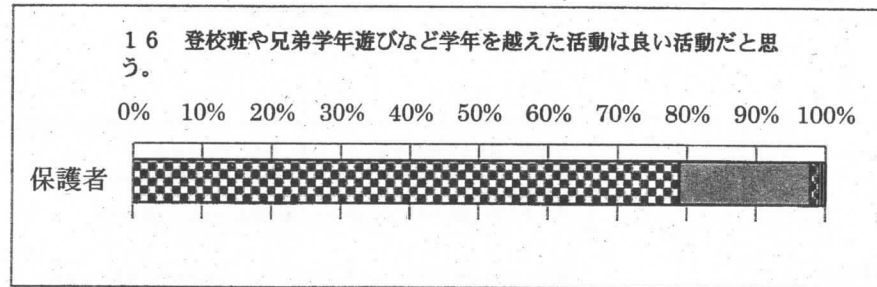
このような作品を介したコミュニケーションが子供のモチベーションを上げ、さらなる作品作りの意欲へとつながります。作品を褒めて下さることが、成長を促す一番の源となります。ぜひご家庭でも学校での様子をお子様とお話していただき、たくさん言葉を交わしていただきたいと思います。

全体の結果について

…よく当てはまる
 …やや当てはまる
 …あまり当てはまらない
 …全く当てはまらない
 …分からない



※評価項目(内容)によっては、3~6年生のみの問い、また、保護者の問いが2項目となり、回答のグラフが2段になっています。
※紙面の都合上、教職員の評価は、裏面の分析の欄に記載しています。



○評価項目「学校が楽しい」について【教職員 肯定的な意見 92%】

豊かな学校生活を送るためには、児童と教員の関係の良さが重要となります。「学校が楽しい」と回答している児童、保護者が多く、何よりもうれしい結果です。子供たちは、充実感、達成感を得ながら学校生活を送っていること、また、互いに認め合える仲間や友達がいると考えます。全ての子供たちが、今後も生き生きと楽しく学校生活を送ることができるように、子供一人一人の個性や能力を十分に生かし、学校生活に満足感を得ることができるようにさらに努力して参ります。

○評価項目「授業が分かる」について【教職員 肯定的な意見 67%】

評価項目1と同様、「授業が分かる」と回答している児童、保護者が多く、うれしい結果です。今後も、子供一人一人の学習の実態を踏まえ、「わかる」「できる」授業実践を積み重ねて参ります。また、来年度は、新学習指導要領完全実施に向けて、「主体的、対話的で深い学びができる児童の育成」を目指して、授業改善を行って参ります。

○評価項目「学校のことで家話す」について

保護者の肯定的な回答が一番高い結果となりました。高学年になると家で学校のことを話さない傾向がありますが、高学年の肯定的な回答も高いことから、高松小の保護者の皆様は、お子さんの話をよく聞いていただいていることがわかります。子供は、悪いことをした際に、自分に都合の良いように話す事があります。また、時間が経つと忘れてしまいます。お子さんの話を信じながらも鵜呑みにはせず、お子さんの話の中で気になった事等がありましたら学校へご連絡をいただくとありがたいです。学校と子供たちと保護者の皆様と供に考え、解決していきましょう。

アンケートから見てきた高松小の課題

○評価項目「宿題や家庭学習の取り組み」について【教職員 肯定的な意見 75%】

肯定的な回答が多いことからきちんと取り組んでいる児童が多く、ご家庭でも声をかけ、見ていただいていることがわかります。宿題は、その日の学校での学習の復習として、次の学習の予習としてなどの理由で出します。学校としても、学年×10+10分になるよう内容を考えて出しています。（お子さんによって、取り組みに必要な時間は異なりますが）今年度、「宿題の他に」という新しい評価項目を設定しました。設定の理由は、高松小の児童は、「自分から」「主体的に」「工夫して」という点が課題であるということが見られるからです。これからの変化の著しい社会を生き抜くためには、自ら課題を見付け、自分なりの方法で課題を解決していく力が必要不可欠です。学校からの宿題の内容について工夫をしていきますが、ご家庭でもさらなる声かけやお子さんの興味のある事、疑問に思っている事などを調べるなど、学校とご家庭と協力をして、次代に生き抜く力を身に付けた子供たちを育成していきたいと考えています。

○評価項目「読書」について【教職員 肯定的な意見 75%】

毎年の結果ではありますが、学年が上がるにつれ、読書への取り組みが低くなっています。「読む時間が無い」という子供たちの現状があるように思われます。また、学校や地域の図書館の利用についても肯定的な回答が6割となっています。今後も学年に応じた読書活動の推進を行うとともに、読書だけでなく、調べ学習等での図書館活用の機会を増やし、本を読む、本で調べる習慣を身に付け、学力向上と読書を通した心豊かな子供の育成に努めて参ります。

○評価項目「あいさつ、返事、丁寧な言葉遣い」について【教職員 肯定的な意見 61%】

あいさつは、人と人とのコミュニケーションの基本です。全校あいさつ運動などの取組の工夫、指導の工夫などにより、元気よくあいさつする習慣が身に付いてきています。「家庭では、家族で互いに挨拶をするようにしている。」は、肯定的な回答が94%を越えていることもあり、今年度は、教員や来校者とすれ違った際に「こんにちは」と言う児童が増えました。反面、「お子さんのあいさつや返事、言葉遣いは、丁寧できちんとしている。」では、肯定的な回答をした保護者が71%にとどまっています。大人の言葉遣いも見直しつつ、TPOに合わせたあいさつや丁寧な言葉遣い等、当たり前のことが当たり前にできる児童の育成を目指して、さらに指導を充実させていきます。ご家庭でのご協力もお願いいたします。

○評価項目「いじめ防止」について【教職員 肯定的な意見 79%】

肯定的な回答した保護者は75.2%でした。さらに、お子さん一人一人が安心して学校に通えるよう、今後も、6月、11月、2月のふれあい月間でのいじめアンケート調査を実施していきます。また、それ以外の月は、「何でも相談」期間の設定、「生活チェックリスト『みんな なかよし』」を実施していきます。これにより、学級の実態や子供たち一人一人の小さな変化を定期的、継続的に把握し、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努めて参ります。なお、学校では、気付かない事もあるかと思ひます。お子さんの話や様子で気になることがありましたら学校へご連絡をいただくとありがたいです。